

## 布施砂丘彦

東京藝術大学卒業、桐朋オーケストラ・アカデミー研修課程修了。10歳からコントラバスを始め、12歳からTwitterを始める。コントラバスを江上靖、遠藤柗一郎、永島義男、池松宏、吉田秀、西山真二、幣隆太郎の各氏に、室内楽を鈴木秀美、若松夏美、松原勝也の各氏に、ヴィオラ・ダ・ガンバを福沢宏氏に師事。10代の頃より都内のプロオーケストラに客演しているほか、ピリオド演奏の分野でも活動している。2017 セイジ・オザワ 松本フェスティバル「こどものオペラ」出演。

パンデミックによって相次いだ公演自粛がきっかけで、音楽聴取をテーマに研究を行っている。その実践・調査として、公演の企画制作、音楽批評、中古レコード店での勤務など、幅広く音楽に携わる。制作した公演には、リゲティの《100台のメトロノームのためのポエム・サンフォニック》などを上演した「「終わりなき終わり」を「変容」する」(2020年8月)がある。本年11月には、フォルテピアノ奏者の川口成彦氏ら日本の古楽界のトッププレイヤーたちを迎え、「ベートーヴェン、交響曲前夜。」(北とぴあ国際音楽祭 2020 参加公演)を開催予定。オルケストル・アヴァン＝ギャルド首席コントラバス奏者。

